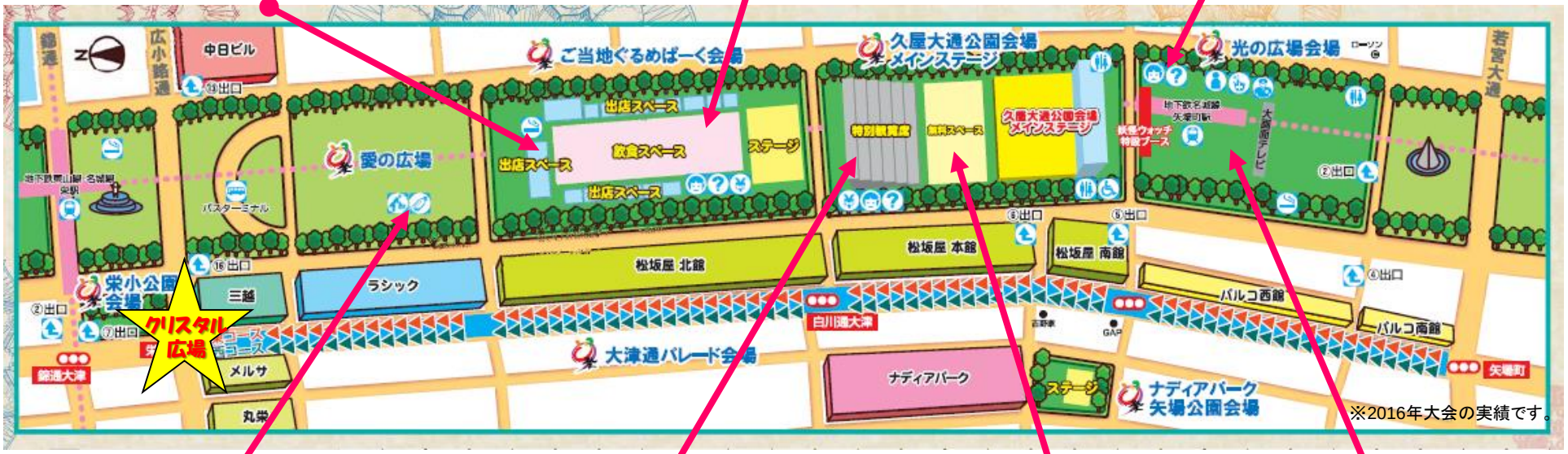
3. 久屋大通公園会場全体図

△ここでしか味わえない、ザ・プレミアムモルツ

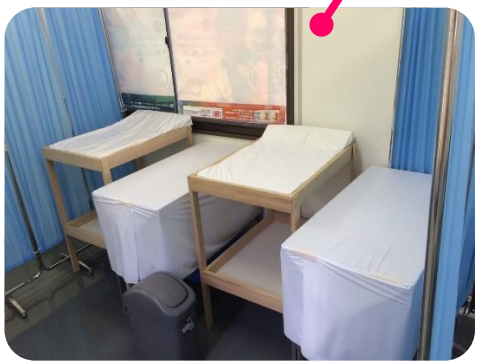
△巨大日よけシェードでより快適に。

△歓迎アーチでおもてなし♪

△会場内は約1000人のボランティアで運営



※2016年大会の実績です。



△子連れでも安心。ベビーセンターを設置！

△約1000人収容の特別観覧席

△ステージ前のフリースペースも朝から満員

△飛び入り参加OKな総踊り会場♪

SakaeChika FLOOR MAP

サカエチカフロアマップ

[営業時間のご案内] 10:00〜20:00

※一部、営業時間の異なる店舗がございます。
詳しくは、サカエチカホームページをご覧ください。http://www.sakaechika.com
※北通路、クリスタル広場は24:00まで、東・西通路は22:00まで開放しております。

1 — 10 サカエチカ出入口　12 — 16 森の地下街出入口

地下鉄改札口 / お手洗い / 福祉型スロープ / AED設置場所
地下鉄改札口（車いす可） / 福祉型お手洗い / エレベーター / 防災センター
バスターミナル / 避難経路 / 休憩スポット / 公衆電話

NAGOYA Free Wi-Fi 使えます!

ファッション&生活雑貨
コスメティック&ドラッグ
ジュエリー&アクセサリー
シューズ&バッグ
カフェ&レストラン
フード
サービス

1．にっぽんど真ん中祭りとは？

第１回 にっぽんど真ん中祭り(1999年)

にっぽんど真ん中祭り（略称：どまつり）は、2017年に19年目を数える参加型の祭りです。毎年8月に名古屋の街を舞台として、全国・海外から地域を背負った市民が集まり、それぞれの地域文化を取り入れた踊り、衣装、曲で観客を魅了しています。

『観客動員ゼロ＝全員参加型の祭り』を目指し、1999年に誕生しました。第1回でこそ26チーム（1，500人）の参加という規模でしたが、いまや国内外から200チーム（約20，000人）の参加者と約200万人の観客を集める祭りへと成長し、名古屋のみならず中部地区を代表する祭りのひとつとして定着しつつあります。

そして大学生の熱意から始まったどまつりは、若い力を中心に世代や地域の枠を超え、わずかな期間で予想以上の広がりと影響を与え始めています。

全国各地から参加するチームそれぞれが、地元文化を取り入れた個性溢れる踊りと、地元の民謡を取り入れたオリジナルの楽曲で参加します。祭りへの参加をきっかけに、市民が地域に興味や関心を持ち、地域の人と人がつながり合う。これこそが「人と地域の活性化」「文化の継承と創造」を目指す、どまつりの最大の特徴であり、魅力なのです。

1999年・第1回にっぽんど真ん中祭りの様子